

# 夢を語ろう!! 次の時代へ Vol.2

ポニーの里ファーム × 今西かずのり

～ 農福連携からみる町内外のネットワークづくり ～



**明見** 農業法人ポニーの里ファームは、障害者、女性、シニア世代が連携し農業を職業として行いたいと考えて出来上がった団体です。最近では六次産業化を含め「くすりの町高取」を進められるよう、活動を行っています。

**今西** 農業分野では、高取で頑張っておられる団体としてお聞きしています。薬草や大和当帰を使った製品などにも取り組んでおられるとか…。

**明見** 大和当帰は、私たちの農場や高取の風土の元うまく育て、近隣の農家さんなどの協力も得て栽培してきた。保科がメンバーに入ってから、色々な繋がりができて「ポニーの里ファーム」の名前が世の中に出るようになってきたのです。

**今西** 保科さんは、どういった経緯でメンバーになられたのですか？

**保科** 僕は滋賀県の出身で、まちづくりに関する修士論文を書くためのフィールドワークで高取町

に最初やってきました。農業に関わって約5年。その間に、つながった人々のネットワークを使って、商品の販路などを広げてきました。

**今西** 外部の人を含めたネットワークで事業を行っていくことは非常に重要なことですね。販売ルートはどうされているのですか？

**保科** 近場より、今は奈良市内、大阪、東京、各地のアンテナショップなど。町内ではnoconocoさんなどで使ってもらっています。

**今西** noconocoさん、最近お世話になっています。おいしいですね。産品だけでなく地域交流や都市交流にも、取り組んでおられるとお聞きしました。

**明見** 農ある高取推進協議会と連携して、都市農村交流の一環で親子向け体験の開催や、地元の作物を使ったお弁当でコロナ禍の子育て支援なども、他の団体さんと協力して進めています。

(裏面に続く)

今西 関連している団体がつながって、行政とともに進めることも重要。それぞれの思いで動かれている方々が多い町であると認識しています。あらゆる事業は、行政だけではできないですから、**地域内外のネットワークづくりと、連携は、絶対に必要**です。

明見 前植村町長も、今年初めに、「朝鮮人参ドリンクを作りたい方がいるから、高取で作付け出来ないか？」等、気軽にトップセールスして貰ってネットワークづくりに関わってくれていました。健康食品は、農の六次産業化の観点からも付加価値が高いですから。

今西 農業や農福連携などで、これからの課題については、どうお考えですか？

明見 担い手が不足。でも機械化されていない。人的に補うには、就労支援やシニア、障害者の皆さんの力を借りるしかない。そういう意味では、農業と福祉のマッチングはいい。ただ、付加価値をつけて、収入につなげていかないと、若い担い手が育たない。そのためには、中心的なマネジメントを行う人材が重要だと思います。

保科 高取は、他地域と違って「地域おこし協力隊」のような制度がない。**社会人経験のある人が、地域おこししてみたいという人を受け入れる**土壤がない。コロナ禍でノウハウ持っているが仕事がないといった人が、都会に持っていかれるのは勿体ない。この辺りは民間でできないので、行政の力が必要です。ワーケーションも推奨されだしています。



今西 高取町も、早く手を付けないと地域おこしの人材をよそに取られてしまう。そこは課題です。

明見 福祉であろうが、農業であろうが、いろんな国の施策のモデル事業などをチャレンジしながら、地域内も元気になりつつ、外からの人も定着するような状況になっていけば、**とてもやりがいのある「まちづくり」**ができると思っています。

今西 国の研究事業や情報、課題解決策など、私の経験や、私の持っているネットワークを使いながら、**町が地域のシンクタンクになる。一番私の実現したいこと**です。

明見 地元の皆さんは、すごく協力してくれる。このコロナ禍で、皆でいろんなチャンス拾ってあげればいいなと思っています。

明見美代子さん(58才)

農業生産法人ポニーの里ファーム 代表取締役  
地域農業の発展、六次産業化を中心に、農を使った地域おこしや、農福連携事業に携わる。

保科政秀さん(31才)

滋賀県出身。学生時代から高取町の地域おこしに関わり、様々なネットワークでポニーの里ファームを盛り立てるキーマン

ことは「農福連携」

農福連携とは、障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。近年、全国各地において、農福連携は確実に広がりを見せています。(農林水産省ホームページより)